【臨床研究名】

バンコマイシン血中濃度が高値となる際の腎障害発現頻度とその背景因子に関する検討

【目的】

感染症治療を行なう際、抗MRSA薬バンコマイシンが投与されることがあります。この薬剤の副作用に腎障害があります。治療には、十分な投与量が必要になりますが、血中濃度が高値となると、腎障害の発現が高率であるとされています。そこで今回、バンコマイシンの腎障害発現のリスクとなる症例の背景、腎障害の発生頻度を調査する計画を立てました。加えて治療薬物モニタリング（therapeutic drug monitoring, TDM）解析により、副作用となり得る高値血中濃度が制御可能か否かを調査し、副作用予防について検討します。

【対象患者・期間】

2014年1月〜2015年6月の間に、注射用抗菌薬バンコマイシンを使用した患者様

【方法】

・投与期間

・年齢

・性別

・疾患名

・バンコマイシン血中濃度

・有害事象の有無

・TDM解析

・有害事象に関連した薬剤の有無

上記項目を調査します。

【個人情報の取扱い】

個人を特定できる情報の取扱いには、十分注意し、匿名化を行います。また、この研究結果を公表する(学会発表や学術雑誌への投稿)場合も、個人を特定できる情報は、含まれません。

【倫理審査】

医学部倫理委員会承認日：　平成　27　年　9　月　14　日

【利益相反】

この研究において開示すべき利益相反はありません。

【この研究に同意されない場合】

この研究に同意されない方は、下記までご連絡ください。

【連絡先】

新潟大学医歯学総合病院　薬剤部

担当：磯辺　浩和

電話：０２５－２２７－２７８８